

| 番号   | タイトル            | 著者    | 内容紹介  | 出版社  | 出版年  | ページ数 | 価格  |
|------|-----------------|-------|---|------|------|------|-----|
| 1554 | 内田百閒（ちくま日本文学1）  | 内田百閒  | 内田百閒(1889-1971):岡山市生まれ。教師をやめたのち作家活動に入る。飄逸な「百鬼園隨筆」によってひろく世に出た。借金術の大家で、鉄道好きとしても知られていた。<br>収録作品：花火、山東京伝、件、流木ほか3 2編                                 | 筑摩書房 | 2007 | 476p | 880 |
| 1555 | 芥川龍之介（ちくま日本文学2） | 芥川龍之介 | 芥川龍之介(1892-1927):東京の下町生まれ。東大英文科在学中に書いた「鼻」が夏目漱石の激賞を受ける。王朝物、キリシタン物、開化物など、たえず新機軸につとめ、知的で清新な作風をつくりあげた。睡眠薬により自殺。<br>収録作品：トロッコ、蜜柑、お時儀、鼻ほか1 4編         | 筑摩書房 | 2007 | 476p | 880 |
| 1556 | 宮沢賢治（ちくま日本文学3）  | 宮沢賢治  | 宮沢賢治(1896-1933):岩手県花巻市生まれ。盛岡の高等農林学校在学中に詩や散文の習作をはじめ。その後、農学校で教えつつ多くの詩や童話を書く。生前はほとんど無名のままに死去。<br>収録作品：革トランク、毒もみのすきな署長さん、風の又三郎ほか1 6編                | 筑摩書房 | 2007 | 476p | 880 |
| 1557 | 尾崎翠（ちくま日本文学4）   | 尾崎翠   | 尾崎翠(1896-1971):鳥取の生まれ。女学校時代に「文章世界」への投稿を始める。日本女子大に入学後、「無風帯から」を発表。女子大中退後、文学に専念。昭和7年の帰郷後、音信を絶つ。戦後、ひっそりと死去。<br>収録作品：こおろぎ嬢、地下室アントンの一室、歩行、第七官界彷徨ほか1 2 | 筑摩書房 | 2007 | 477p | 880 |
| 1558 | 幸田文（ちくま日本文学5）   | 幸田文   | 幸田文(1904-1990):東京向島の生まれ。父露伴より家事、身にわたりきびしい躰をうける。晩年の父をみとり、その死を述べた「終焉」「葬送の記」で文壇に登場。ジャーナリズムと隔たりをとり文筆活動をつづけた。<br>収録作品：勲章、姦声、髪、段ほか1 0編                | 筑摩書房 | 2007 | 476p | 880 |
| 1559 | 寺山修司（ちくま日本文学6）  | 寺山修二  | 寺山修司(1935-1983):青森県弘前市生まれ。劇団「天井桟敷」を結成し劇作家、演出家として活動するかたわら、小説、批評、詩、歌謡、映画、競馬評論などさまざまな分野で才能を発揮した。旺盛な仕事のさなかに急死。<br>収録作品：誰か故郷を想はざる(抄)、家でのすすめ(抄)ほか1 1編 | 筑摩書房 | 2007 | 476p | 880 |
| 1560 | 江戸川乱歩（ちくま日本文学7） | 江戸川乱歩 | 江戸川乱歩(1894-1965):三重県名張の生まれ。学生時代に英米の推理小説を耽読。卒業後、会社員、古本屋、新聞記者など職業を転々としたのち、大正1 2年に「二銭銅貨」を発表。筆名はエドガー・アラン・ポーにちなむ。<br>収録作品：白昼夢、火星の運河、二銭銅貨ほか1 5編       | 筑摩書房 | 2008 | 476p | 880 |

ティーンズ向け かたらい文庫

| 番号   | タイトル                    | 著者        | 内容紹介   | 出版社  | 出版年  | ページ数 | 価格    |
|------|-------------------------|-----------|--|------|------|------|-------|
| 1561 | 太宰治 (ちくま日本文学 8)         | 太宰治       | 太宰治(1909-1948):青森県北津軽郡の生まれ。中学の頃より同人誌に習作を発表。「魚服記」「思い出」でデビュー。戦中から戦後にかけて「ロマネスク」「富嶽百景」「お伽草子」など次々と秀作を発表。流行作家としての栄光のさなかに自殺。                              | 筑摩書房 | 2008 | 477p | 880   |
| 1562 | 坂口安吾 (ちくま日本文学 9)        | 坂口安吾      | 坂口安吾(1906-1955):新潟市生まれ。インド哲学、フランス文学を学んだ後、戦争中、卓抜なエッセイを書きつづけ、戦後「白痴」「墮落論」で一世に出た。独特の発想と視点をもった文明批評や探偵小説なども書いている。<br>収録作品:風博士、村のひと騒ぎ、FARCEに就て、石の思いほか 10編 | 筑摩書房 | 2008 | 476p | 880   |
| 1563 | 三島由紀夫 (ちくま日本文学 10)      | 三島由紀夫     | 三島由紀夫(1925-1970):東京四谷生まれ。東大法科を経て大蔵省に入るが、まもなく退職。「仮面の告白」によって文壇の地位を確立。「愛の渇き」「金閣寺」「潮騒」など次々と話題作を発表。<br>収録作品:海と夕焼、中世、夜の仕度、家族合せほか 9編                      | 筑摩書房 | 2008 | 476p | 880   |
| 1564 | 泉鏡花 (ちくま日本文学 11)        |           | 泉鏡花(1873-1939):金沢生まれ。尾崎紅葉の門に入り、認められる。大正から昭和にかけて自然主義やプロレタリア文学がおこる文壇とは遠いところで、幻想と怪異をもち、独特の文体に支えられた編奇性の強い文学を書いた。<br>収録作品:雛がたり、国貞えがく、三尺角ほか 3編           | 筑摩書房 | 2008 | 476p | 880   |
| 1565 | 変身 (白水社Uブックス)           | フランツ・カフカ  | ある朝、目を覚ますと巨大な虫になっていた男とその家族を描く。この異常な事件をぐくありふれた日常茶飯事のように語る冷静な報告調の文体が特徴。実存主義文学の代表的作品。   | 白水社  | 2006 | 147p | 570   |
| 1566 | 異邦人 (新潮文庫)              | アルベール・カミュ | ノーベル文学賞受賞作家であるカミュの代表作。灼熱の地アルジェリアを舞台に、頹廢的で無口でありながら知的な青年主人公ムルソーの本心を偽らない人間性と彼をとりまく欺瞞的な社会常識への強烈な反発を描く。   | 新潮社  | 1954 | 134p | 454   |
| 1567 | ヴェニスの商人 (光文社古典新訳文庫)     | シェイクスピア   | 恋に悩む友人のため貿易商アントニオは、ユダヤ人の高利貸しシャイロックから借金をしてしまう。担保は自身の肉 1ポンド。商船が難破し全財産を失ったアントニオにシャイロックは証文どおりの返済をせまる。中世のイタリアを舞台に繰り広げられる商取引と恋の喜劇。                       | 光文社  | 2007 | 241p | 495   |
| 1568 | カラマーゾフの兄弟 1 (光文社古典新訳文庫) | ドストエフスキー  | 地主フォールド・カラマーゾフの息子たち、性格がお互いに全く異なる 3人の兄弟ドミートリー、イワン、アリョーシャと、その息子であるとは認められていないスルメジャコフの物語。フォールドの殺害とその事件をめぐる裁判を描く。ドストエフスキーの最後の長編小説であり、世界文学の最高峰。          | 光文社  | 2006 | 443p | 724   |
| 1569 | カラマーゾフの兄弟 2 (光文社古典新訳文庫) | ドストエフスキー  |  |      | 2006 | 501p | 781   |
| 1570 | カラマーゾフの兄弟 3 (光文社古典新訳文庫) | ドストエフスキー  |  |      | 2007 | 541p | 838   |
| 1571 | カラマーゾフの兄弟 4 (光文社古典新訳文庫) | ドストエフスキー  |  |      | 2007 | 700p | 1,029 |
| 1572 | カラマーゾフの兄弟 5 (光文社古典新訳文庫) | ドストエフスキー  |  |      | 2007 | 365p | 629   |

| 番号   | タイトル                 | 著者            | 内容紹介  | 出版社  | 出版年  | ページ数 | 価格    |
|------|----------------------|---------------|---|------|------|------|-------|
| 1573 | 車輪の下 (新潮文庫)          | ヘルマン・ヘッセ      | ノーベル文学賞受賞作家であるヘッセの代表的自伝小説。周囲の期待を一身に背負い猛勉強の末、神学校に合格したハンス。しかし厳しい学校生活になじめず、学業からも落ちこぼれ、故郷で機械工として新たな人生を始めるが、地方出身の一人の優等生が、思春期の孤独と苦みの果てに破滅へと至る姿を描いてい | 新潮社  | 1951 | 224p | 374   |
| 1574 | 武器よさらば 上 (光文社古典新訳文庫) | ヘミングウェイ       | 第一次世界大戦のイタリア戦線。アメリカ人中尉と恋人のイギリス人看護婦は非常な戦場からスイスへと逃れるが…。戦争という死と隣合わせの場で燃え上がる愛。ヘミングウェイ自身の北イタリア戦線従軍体験をもとにした記念碑的作品。                                  | 光文社  | 2007 | 273p | 533   |
| 1575 | 武器よさらば 下 (光文社古典新訳文庫) | ヘミングウェイ       |   | 光文社  | 2007 | 308p | 571   |
| 1576 | 老人と海 (新潮文庫)          | アーネスト・ヘミングウェイ | 老漁夫サンチャゴは四日間の死闘の末、巨大なカジキマグロを捕まえる。しかし帰途、サメに襲われ、舟にくりつけられた獲物は失われてしまう。徹底した外面描写を用い、孤独の中で雄々しく闘う老人の姿を通して自然の厳粛さと人間の勇気を謳うヘミングウェイの代表作。                  | 新潮社  | 2003 | 170p | 400   |
| 1577 | マルクスの『資本論』(名著誕生)     | フランシス・ウィーン    | 当時の何百万人も的人生に影響を与え、世界の歴史の流れを変えた『資本論』。さまざまに論じられてきたこの書物を、「資本主義」という怪物を主人公として小雪として読みなおし、当時の時代背景とマルクスの個人的な悲劇も含めて生き生きと描く。                            | ポプラ社 | 2007 | 212p | 1,500 |
| 1578 | ダーウィンの『種の起源』(名著誕生)   | ジャネット・ブラウン    | 「進化論」を高度な理論にまで高めた画期的な書『種の起源』誕生の経緯から、出版当時どのような賞賛と批判を受け、さらに今日に至るまで名著として輝きを放ち続けているのかを、わかりやすく解き明かす。   | ポプラ社 | 2007 | 203p | 1,500 |
| 1604 | スコールNo.4             | 宮下奈都          | どうしても忘れられないもの、拘ってしまうもの、深く愛してしまうもの。そういうものが扉になる…。日常の丹念な描写から、ひとりの女性への道のりを描く、著者初の書き下ろし長編小説。   | 光文社  | 2007 | 267p | 1,600 |
| 1605 | なやちから<br>悩む力         | 姜尚中           | 文明がもたらす人間の苦しみを100年前に直視した漱石とウェーバー。その言葉をヒントに、最後まで悩みを手放すことなく真の強さを掴み取る生き方を提唱。現代を代表する政治学者の学識と経験が生んだ珠玉の1冊。  | 集英社  | 2008 | 190p | 680   |
| 1606 | こうや<br>荒野            | 桜庭一樹          | 山野内荒野、12歳。恋愛小説家の父と暮らす少女のもとに、新しい家族がやってきた。“恋”とは、“好き”とは…。移ろいゆく季節の中で、少女は大人になっていく。直木賞受賞第1作、感動の長篇小説。  | 文藝春秋 | 2008 | 506p | 1,680 |

| 番号   | タイトル             | 著者    | 内容紹介   | 出版社    | 出版年  | ページ数 | 価格    |
|------|------------------|-------|--|--------|------|------|-------|
| 1607 | 2 1 (twenty one) | 小路幸也  | なぜ自ら死を選んだのか。僕たちに何も告げずに。特別な絆で結ばれていると信じていた人を突然喪った時、胸にこみ上げる思いをどうすればいいんだろう…。"生きていく意味"を深く問いかける感動作。            | 幻冬舎    | 2008 | 253p | 1,500 |
| 1608 | ミュージック・プレス・ユー！！  | 津村記久子 | オケタニアザミは高校3年生。数学が苦手な追試や補習の連続、進路は何ひとつ決まらない彼女の「くだぐだ」の日常を支えるのは、パンクロックだった…。情けなくて愛おしい、極上の青春小説。第30回野間文芸新人賞受賞作。 | 角川書店   | 2008 | 218p | 1,500 |
| 1636 | よろこびの歌           | 宮下奈都  | 音大附属高への受験に失敗した玲は、同級生との交わりを拒み、母親へのコンプレックスから抜け出せずにいた…。歌うことの意味、仲間と声を合わせる喜びに気づき、成長する女子高生たちの姿を描く青春小説。         | 実業之日本社 | 2009 | 204p | 1,300 |
| 1637 | 学問               | 山田詠美  | 「私ねえ、欲望に忠実なの。愛弟子と言ってもいいね」。4人の少年少女の、生と性の輝き。そしていつもそこにある、かすかな死の影。4人が過ごしたかけがえのない時間…。山田詠美の新たな代表作。             | 新潮社    | 2009 | 292p | 1,500 |
| 1638 | 横道世之介            | 吉田修一  | なんにもなかった。だけどなんだか楽しかった。懐かしい時間。愛しい人々…。『バレード』『悪人』の吉田修一が描く、風薫る80年代の青春群像。平成の三四郎ともいえる、傑作青春小説誕生。                | 毎日新聞社  | 2009 | 423p | 1,600 |
| 1666 | 桐島、部活やめるってよ      | 朝井リョウ | バレー部の「頼れるキャプテン」桐島が、突然部活をやめた。それがきっかけで、田舎の県立高校に通う5人の生活に、小さな波紋が広がっていく…。第22回小説すばる新人賞受賞作。                     | 集英社    | 2010 | 198p | 1,200 |
| 1667 | 人間の条件            | 立岩真也  | 成果主義、自己決定、介護、格差、貧困などのテーマを、いまほど待たなしに再検証すべき時代、またそれが可能である時代は、かつてなかった。それらをいま、著者がはじめてやさしく語り尽くす。               | 理論社    | 2010 | 392p | 1,500 |
| 1668 | 風が強く吹いている        | 三浦しをん | 箱根駅伝を走りたい。灰二の想いが、天才ランナー走と出会って動き出す。自分の限界に挑戦し、ゴールを目指して襷を繋ぐことで、仲間と繋がっていく。純度100パーセントの疾走青春小説。                 | 新潮社    | 2009 | 670p | 819   |
| 1676 | 卒業ホームラン          | 重松清   | 少年野球チームのいつも補欠の6年生、智の物語の表題作のほか、忘れられない転校生との友情を描く「エビスくん」などを収める自選短編集。(男子編)                                   | 新潮社    | 2011 | 330p | 476   |

| 番号   | タイトル              | 著者                | 内容紹介   | 出版社      | 出版年  | ページ数 | 価格    |
|------|-------------------|-------------------|--|----------|------|------|-------|
| 1677 | まゆみのマーチ           | 重松清               | 歌が大好きな女の子まゆみと母の物語の表題作のほか、いじめに巻き込まれた少女の孤独な闘いを描く「ワコとハブとひょうたん池で」などを収める自選短編集。(女子編)                               | 新潮社      | 2011 | 319p | 476   |
| 1712 | スティーブ・ジョブズの生き方    | カレン・ブルーメンタール      | 2011年10月5日、惜しまれながら世を去ったスティーブ・ジョブズ。スタンフォード大学卒業式でのスピーチにならい、「3つの物語」からジョブズの、目を見張る特異な生涯を描く。中学生から読める本格伝記。          | あすなる書房   | 2012 | 349p | 1,600 |
| 1722 | くちびるに歌を           | 中田永一              | 拝啓15年後の君へ。中学合唱コンクールを目指す部員たちは、15年後の自分に手紙を書く。その手紙には、誰にも話せない秘密が綴られていた。幸福感が訪れる切なくピュアな青春小説。第61回小学館児童出版文化賞受賞作。     | 小学館      | 2011 | 285p | 1,500 |
| 1731 | 世界地図の下書き          | 朝井リウウ             | 児童養護施設で暮らす子どもたち。大切な人との別れの日に向けて、4人の小学生が計画した「作戦」とは。それぞれ事情を抱える子どもたちの痛みや葛藤、成長を書いた長編小説。                           | 集英社      | 2013 | 325p | 1,400 |
| 1749 | 高校生が心に刻んだ戦争と平和の証言 | 東京の高校生平和のつどい実行委員会 | 「東京の高校生平和のつどい」や実行委員会で聞いた、戦争体験者などの証言をまとめた本。「MESSAGE-未来を生きるみんなへ」「戦争と平和の証言」「高校生は学び、語り、表現する」の3部構成。               | 平和文化     | 2012 | 159p | 1,600 |
| 1760 | さきちゃんたちの夜         | よしもとばなな           | 失踪した友人を捜す早紀。祖父母秘伝の豆スープを配る咲。双子の兄を事故で亡くした崎の部屋に転がり込んだ、10歳の姪さき。今「さきちゃん」たちに訪れた小さな奇跡が、かけがえのないきらめきを放つ。              | 新潮社      | 2013 | 227p | 1,300 |
| 1771 | 3年7組食物調理科         | 須藤靖貴              | 県立新居山総合技術高校の食物調理科、通称「ショクチョウ」では料理人のたまごたちが毎日料理に明け暮れている。米崎恵志は、集団調理で先生にお弁当を食べてもらう「営業」を前に張り切っていたが…。               | 講談社      | 2014 | 255p | 1,300 |
| 1772 | 体感する宇宙            | 竹内薫               | 超新星爆発やヒッグス粒子、ブラックホールなど、耳にしたことはあってもなかなかイメージしづらい宇宙用語の数々を、日常生活に置き換えて解説する、「体感型」宇宙雑学本。身近なエピソードで楽しく体感しながら宇宙を理解できる。 | KADOKAWA | 2014 | 199p | 1,200 |
| 1773 | 島はぼくらと            | 辻村深月              | 瀬戸内海の小さな島、冴島。島の子はいつか本土に渡る…。瀬戸内の離島を舞台に、そこで暮らす男女4人の高校生の青春を描く長編小説。直木賞受賞作家の受賞後書き下ろし第1作。                          | 講談社      | 2013 | 329p | 1,500 |

ティーンズ向け かたらい文庫

| 番号   | タイトル              | 著者     | 内容紹介   | 出版社      | 出版年  | ページ数 | 価格    |
|------|-------------------|--------|--|----------|------|------|-------|
| 1797 | 2. 4 3 清陰高校男子バレー部 | 壁井ユカコ  | ありあまる才能と情熱ゆえに周囲との軋轢を生む灰島と、その幼馴染で身体能力は抜群だがプレッシャーに弱い黒羽。2人の少年を中心に、福井の弱小バレー部が全国優勝を目指して動き出す。ぶつかりながら成長していく少年たちを描く、さわやかな青春スポーツ小説。 | 集英社      | 2013 | 394p | 1,700 |
| 1798 | セブンティーン・ガールズ      | 北上次郎／編 | 文芸評論家・北上次郎の選ぶ青春小説アンソロジー。宮下奈都の長編『スコレ No. 4』より、主人公の高校時代の淡い恋心を描く「No. 2」が収められているほか、大島真寿美、豊島ミホ、中田永一、森絵都による思春期の女子を主人公とする短編5篇を収録。 | KADOKAWA | 2014 | 255p | 520   |
| 1834 | 君の臍臓をたべたい         | 住野よる   | 他人に興味を持たずクラスで孤立している僕と、天真爛漫な性格で人気者の山内桜良。ある日偶然、僕は1冊の文庫本を拾う。それは彼女が綴った秘密の日記帳だった。発売後1年で60万部を突破した、圧倒的デビュー作。                      | 双葉社      | 2015 | 281p | 1,400 |
| 1838 | ぼくは明日、昨日のきみとデートする | 七月隆文   | 京都の美大に通うぼくは、一目惚れした女の子に意を決して声をかけ、交際にこぎつける。しかし、気配り上手でさびしがりやな彼女には、大きな秘密が隠されていた。第3回京都本大賞受賞作。                                   | 宝島社      | 2014 | 287p | 670   |
| 1839 | 屋上のウインドノーツ        | 額賀滯    | 友達がひとりもない県立高校へ入学した引っ込み思案の少女・給前志音は、ワケありの部長・日向寺大志に誘われ吹奏楽部に入部する。やがて厳しい練習の日々を過ごすようになり…。第2回松本清張賞受賞作。                            | 文芸春秋     | 2015 | 304p | 1,200 |
| 1845 | 神さまのいる書店 まほろばの夏   | 三萩せんや  | 本好きの高校2年生・紙山ヨミが、夏休みのバイト先として紹介された、まほろば屋書店。そこは魂の宿る生きた本「まほろ本」を扱う、世にも不思議な書店だった。第2回ダ・ヴィンチ「本の物語」大賞受賞作。                           | KADOKAWA | 2015 | 233p | 1,000 |
| 1858 | ストロベリーライフ         | 荻原浩    | イチゴ農家を継ぐと迫る母親。猛反対の妻。志半ばの仕事はどうする。夢を諦めるか、実家を捨てるか。恵介36歳、今、人生の岐路に立つ…。【第63回青少年読書感想文全国コンクール課題図書(高等学校の部)】                         | 毎日新聞出版   | 2016 | 281p | 1,400 |
| 1859 | 蜜蜂と遠雷             | 恩田陸    | 数多の天才たちが繰り広げる競争という名の自らの闘い。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、そして音楽を描き切った青春群像小説。【第156回直木賞受賞 第14回本屋大賞1位】                                  | 幻冬舎      | 2016 | 287p | 670   |

| 番号   | タイトル                         | 著者        | 内容紹介   | 出版社      | 出版年  | ページ数 | 価格    |
|------|------------------------------|-----------|--|----------|------|------|-------|
| 1860 | 空への助走                        | 壁井ユカコ     | バレー部、陸上部、柔道部、釣り部…。それぞれの悩みを抱えながら部活に打ち込み、時にチームメイトとぶつかり、時に恋に揺れ動く高校生たちのまぶしい青春の日々を描く連作短編集（4編収録）。                        | 集英社      | 2016 | 304p | 1,200 |
| 1865 | スウィングしなげりや意味がない              | 佐藤亜紀      | 15歳のエディと仲間たちが熱狂しているのは、頹廃音楽と呼ばれる“スウィング”だ。だが、音楽と恋に彩られた彼らの青春にも、徐々に戦争が色濃く影を落としはじめる…。戦時下のドイツを舞台に描く音楽青春小説。               | KADOKAWA | 2017 | 233p | 1,000 |
| 1880 | 君たちはどう生きるか                   | 吉野源三郎     | 勇気、いじめ、貧困、格差、教養等のテーマに、人間として真摯に向き合う主人公のコペル君と叔父さん。2人の姿勢には、数多くの生き方の指針となる言葉が示されている。日本を代表する歴史的な名著の新装版。                  | マガジンハウス  | 2017 | 233p | 1,000 |
| 1885 | そして、ぼくは旅に出た。<br>はじまりの森ノースウッズ | 大竹英洋      | カナダとアメリカの国境、五大湖付近から北極圏にかけて広がる湖水地方“ノースウッズ”。写真家をめざした若者は、なぜ森と湖の世界へと旅立ったのか。「ナショナルジオグラフィック日本版」のウェブサイト連載を加筆訂正したノンフィクション。 | あすなる書房   | 2017 | 418p | 1,900 |
| 1891 | 女の子が生きていくときに、<br>覚えていてほしいこと  | 西原理恵子     | 人生に船出する娘に母が伝えたいこと、それは、自分の人生や子育ての折々に考えたこと、悟ったこと、決めたこと。「ぼくんち」「毎日かあさん」等で知られる漫画家の厳しくもハートフルな生き方指南。                      | KADOKAWA | 2017 | 157p | 1,100 |
| 1895 | かがみの孤城                       | 辻村深月      | 閉じこもっていたところの目の前で、鏡が光り始めた。鏡をくぐり抜けた先には不思議な建物があり、そこには7人の中学生が集められていた。7人が願いを叶えるために隠された鍵を探す感動の物語。【2018年本屋大賞第1位】          | ポプラ社     | 2017 | 554p | 1,800 |
| 1898 | ザ・ヘイト・ユーク・ギヴ                 | アンジー・トーマス | スターはゲットー（黒人街）に暮らし上流階級の高校に通う女の子。ある日友人が白人警官に目の前で射殺され、事件は悪意のある報道をされ広まっていく。友の汚名を晴らすため、スターは立ち上がる。アメリカの社会問題を捉えたティーンズ小説。  | 岩崎書店     | 2018 | 470p | 1,700 |
| 1911 | 早朝始発の殺風景                     | 青崎有吾      | 始発の電車、放課後のファミリーレストラン、観覧車のゴンドラの中、平屋のレストハウス、煤木戸さんの部屋。高校生たちの関係が日常の小さな謎を通して少しずつ変わってゆく、5つの“青春密室劇”+エピソード。                | 集英社      | 2019 | 205p | 1,450 |

| 番号   | タイトル                              | 著者                 | 内容紹介  | 出版社      | 出版年  | ページ数 | 価格    |
|------|-----------------------------------|--------------------|---|----------|------|------|-------|
| 1924 | ぼくがゆびをばちんとならして、<br>きみがおとなになるまえの詩集 | 斉藤倫                | 「ことばにならないものが、ことばになってるの?」「ただしくいうと、ことばになってるんじゃないくて、ことばにしようとした、あと、なんだ」「きみ」と「ぼく」の、20編の詩をめぐるストーリー。詩人斉藤倫と考える、詩のこと、ことばのこと。             | 福音館書店    | 2019 | 158p | 1,200 |
| 1934 | ロウソクの科学                           | ファラデー              | 「この宇宙をまんべんなく支配するもろもろの法則のうちで、ロウソクが見せてくれる現象にかかわりをもたないものは一つもないといってよくらいです」2019年ノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏が科学に興味をもつきっかけの本として話題となった不朽の名著。       | KADOKAWA | 2012 | 206p | 514   |
| 1936 | ぼくはイエローでホワイトで、<br>ちょっとブルー         | ブレイディみかこ           | 英国ブライトン市でランキングトップのカトリック系公立小学校から白人労働者階級が多く通う元・底辺中学に進学した息子の日常の様々なエピソードを、母の目でとらえたノンフィクション。【第2回YAHOO!JAPANニュース   本屋大賞ノンフィクション本大賞受賞】 | 新潮社      | 2019 | 252p | 1,350 |
| 1941 | ぎゃく<br>逆ソクラテス                     | いさか こうたろう<br>伊坂幸太郎 | 【第33回柴田錬三郎賞】逆境にもめげず、簡単ではない現実に立ち向かい、非日常的な出来事に巻き込まれながらもアンハッピーな展開を乗り越え、僕たちは逆転する。無上の短編5編(書き下ろし3編)を収録。                               | 集英社      | 2020 | 276  | 1,400 |
| 1950 | とも げんそう<br>友だち幻想                  | かんのひとし<br>菅野仁      | 友だちは何よりも大切。でも、なぜこんなに友だちとの関係で傷つき、悩むのだろう…。そんな悩みを持つ人に贈る、人と人の距離感覚を磨いて、上手に「つながり」を築けるようになるための本。                                       | 筑摩書房     | 2008 | 156  | 740   |
| 1956 | みず ぬ<br>水を縫う                      | てらち<br>寺地はるな       | 学校で手芸好きをからかわれ、周囲から浮いている清澄は、かわいいものや華やかな場が苦手な姉のため、ウェディングドレスを手作りすると宣言するが…(「みなも」)。世の中の「普通」を踏み越えていく、6人の家族の物語。                        | 集英社      | 2020 | 240  | 1,600 |
| 1957 | つく けっか<br>ゼロからトースターを作ってみた結果       | トーマス・トウエイツ         | トースターくらいなら原材料から自分で作れるんじゃないか?と思いついた著者の汗と笑いの9カ月!(結末は真面目な文明論です)  | 新潮社      | 2015 | 211  | 800   |
| 1958 | せん ぼく えが<br>線は、僕を描く               | とがみひろまさ<br>砥上裕将    | 両親を交通事故で失った大学生の青山霜介は、アルバイト先の展覧会場で水墨画の巨匠・篠田湖山と出会う。なぜか湖山に気に入られ、その場で内弟子にされてしまう霜介。それに反発した湖山の孫・千瑛は、翌年の「湖山賞」をかけて霜介と勝負すると宣言する。         | 講談社      | 2019 | 317  | 1,500 |



| 番号     | タイトル                        | 著者                           | 内容紹介  | 出版社    | 出版年  | ページ数                 | 価格           |
|--------|-----------------------------|------------------------------|---|--------|------|----------------------|--------------|
| 1961   | たお<br>バッタを倒しにアフリカへ          | まえの こうたろう<br>前野ウルト浩太郎        | バッタ被害を食い止めるため、バッタ博士は単身、モーリタニアへと旅立った。それが、修羅への道とも知らずに…。『孤独なバッタが群れるとき』の著者が贈る、科学冒険“就職”ノンフィクション。                           | 光文社    | 2017 | 378                  | 920          |
| 1964-1 | いこ きり しる じょう<br>ICO 霧の城 上   | みやべ<br>宮部みゆき                 | 邪悪な力を持つ霧の城は、角の生えた子を生贄として求めていた。イコはしきりに従い、霧の城へ。そこで檻に囚われた少女を発見したイコは彼女を助け出す、その手を握ると何故か彼の頭の中に様々な幻像が…。                      | 講談社    | 2004 | 上<br>330<br>下<br>381 | 上680<br>下700 |
| 1964-2 | いこ きり しる げ<br>ICO 霧の城 下     |                              |   |        |      |                      |              |
| 1968   | なつ にわ<br>夏の庭                | ゆもと かずみ<br>湯本香樹実             | 【1997年ポストグローブ・ホーンブック賞】【第26回日本児童文学者協会新人賞】【第22回児童文芸新人賞】町外れに暮らすひとりの老人をぼくらは「観察」し始めた。老人が死ぬ瞬間をこの目で見るために――。                  | 新潮社    | 1994 | 218                  | 490          |
| 1969   | むし<br>虫とゴリラ                 | ようろうたけし やまぎわゆいち<br>養老孟司、山極寿一 | 列島誕生から1500万年。「虫とゴリラ」の目で、人間の世界をとらえ直す。情報化社会の中で、コンピューターに支配されつつある現代日本人に贈る、日本の2大知性によるビッグ対談。                                | 毎日新聞出版 | 2020 | 234                  | 1,500        |
| 1970   | おし ぶつり<br>ペンギンが教えてくれた物理のはなし | わたな ゆうき<br>渡辺佑基              | 【第68回毎日出版文化賞自然科学部門】ペンギン、アザラシ、アホウドリなど、観察が難しい野生動物の体に記録機器を取り付ける研究手法「バイオロギング」。その研究成果を紹介し、背景にある物理法則から進化的な意義を明らかにする。        | 河出書房新社 | 2020 | 288                  | 880          |
| 1972   | イマジン？                       | 有川ひろ                         | 憧れていた映像制作の現場に飛び込んだ、良井良助(27歳)。そこは現実と物語を繋げる、魔法の世界だった。慣れない現場であたふたする良助だったが、作品と向き合う仲間たちの熱気に、焦られるような思いを募らせていく。お仕事小説&甘々ラブコメ。 | 幻冬舎    | 2020 | 395                  | 1,600        |
| 1974   | エレジーは流れない                   | 三浦しをん                        | 山と海に囲まれた餅湯町。餅湯温泉を抱え、団体旅行客で賑わっていたかつての面影はとうにない。のどかでさびれた街に暮らす高校2年生の怜は、複雑な家庭の事情、迫り来る進路選択、自由な友人たちに振り回され、悩み多き日々を送っていたが…。    | 双葉社    | 2021 | 256                  | 1,500        |
| 1975   | お探し物は図書室まで                  | 青山美智子                        | 「お探し物は、本ですか?仕事ですか?人生ですか?」悩める人々が立ち寄った小さな図書室。不愛想だけど聞き上手な司書さんが、思いもよらない選書と可愛い付録で人生を後押しする。明日への活力が満ちていくハートウォーミング小説。         | ポプラ社   | 2020 | 300                  | 1,600        |

| 番号   | タイトル                        | 著者             | 内容紹介   | 出版社    | 出版年  | ページ数 | 価格    |
|------|-----------------------------|----------------|--|--------|------|------|-------|
| 1982 | 52ヘルツのクジラたち                 | 町田そのこ          | 【2021年本屋大賞】 自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴湖と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。注目作家・町田そのこの初長編作品。                        | 中央公論新社 | 2020 | 260  | 1,600 |
| 1983 | こどもホスピスの奇跡<br>短い人生の「最期」をつくる | 石井光太           | 【第20回 新潮ドキュメント賞】 余命少ない子供たちが辛い治療から離れ、やりたいことをのびのびとやり、家族と忘れぬ思い出をつくる。そんな、短くとも深く生きるための場所があったら…。「TSURUMIこどもホスピス」実現に向けて立ち上がった人たちのこれまでとこれから。 | 新潮社    | 2020 | 269  | 1,550 |
| 1986 | サード・キッチン                    | 白尾悠            | 留学したアメリカで初めて迎えた孤独な冬。尚美を救い、変えたのは、出身地やLGBTQ、経済格差など、あらゆる学生が集い運営する食堂「サード・キッチン」との出会いだった。勇気を出して踏み出す姿に感涙必至の青春小説。                            | 河出書房新社 | 2020 | 344  | 1,800 |
| 1989 | スモール・ワールドズ                  | 一穂ミチ           | 【2022年 本屋大賞ノミネート】【第9回静岡書店大賞】【キノバシ！2022 第4位】夫婦円満を装う主婦と、家庭に恵まれない少年。「秘密」を抱えて出戻ってきた姉とふたたび暮らす高校生の弟。初孫の誕生に喜ぶ祖母と娘家族…。愛おしい喜怒哀楽を描き尽くす連作集。     | 講談社    | 2021 | 299  | 1,500 |
| 1990 | 旅する練習                       | 乗代雄介           | 【第34回三島由紀夫賞】 中学入学を前にしたサッカー少女と、小説家の叔父。2020年、コロナ禍で予定がなくなった春休み、ふたりは利根川沿いに、徒歩で千葉の我孫子から鹿島アントラーズの本拠地を目指す旅に出る。                              | 講談社    | 2021 | 170  | 1,550 |
| 1994 | 日本語とにらめっこ                   | モハメド・オマル・アブディン | 漢字も諺もおやじギャグも使いこなす！スーダンから来た全盲の青年はどうやって日本語を身につけたのか。本を読むことすらできなかった彼が、福井県立盲学校で学び、日本語で文章を書くまでの苦闘を語る。                                      | 白水社    | 2021 | 217  | 2,000 |
| 1996 | 100万回死んだねこ<br>覚え違いタイトル集     | 福井県立図書館        | 図書館利用者の「覚え違いタイトル」の実例を集めて公開している福井県立図書館の「覚え違いタイトル集」を、イラストとともに紹介。ページをめくれば「正しい書誌情報」と「司書によるレファレンス」が現れる。爆笑しながら司書の検索能力に驚嘆する1冊。              | 講談社    | 2021 | 189  | 1,200 |
| 1998 | ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー 2     | ブレイディみかこ       | 中学生の「ぼく」の日常は、今も世界の縮図のよう。授業でのスタートアップ実習、ノンバイナリーの教員たち、音楽部でのポリコレ騒動、ずっと助け合ってきた隣人との別れ、そして母の国での祖父母との旅…。「親子の成長物語」、ついに完結。                     | 新潮社    | 2021 | 204  | 1,300 |